



田んぼを舞うウスバシロチョウ 写真/加藤良平

## CONTENTS

- 02 海野和男が語るチョウの魅力
- 04 国際チョウ類保全シンポジウム報告
- 08 里山を読み解く  
「第1回 ギフチョウとカタクリの里」
- 14 虫たちの不思議な世界  
「セスジスカシバ」
- 16 生物多様性・COP10報告
- 18 保全活動レポート  
ゴマシジミ、ヒメギフチョウ、  
ミヤマシロチョウ、ウラジロミドリシジミ、  
ウスイロヒョウモンモドキ、ヒメヒカゲ、  
台湾ツバメシジミ
- 22 チョウ類保全の科学アップデート
- 24 散歩道でのチョウ観察ガイド 1  
「公園で冬越しするムラサキツバメ」

- 12 お知らせ
- 13 報告・チョウ類の保全を考える集い

# チョウの舞う 自然

THE JAPAN BUTTERFLY  
CONSERVATION SOCIETY  
NEWSLETTER NO.12

日本チョウ類保全協会 会誌12号

表紙：ヒメギフチョウ



厚く地面を覆っていた雪が消え去ると同時に、北国の春は時間を刻み始める。落葉の下から真っ先に顔を覗かせるのはフキノトウ。この村落ではヒメギフチョウは、カタクリが咲くよりも数日早く蛹から羽化し、最初の数日だけフキの花に蜜を求める。カタクリが咲くと、もうフキには見向きもしない。偶然のように思えても、季節は毎年確かにこの順番で、一足飛びに駆けてゆく。

山形県鮭川村 2008年4月

写真・文/永幡嘉之